

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	ハザードマップ作成・見直し事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市地域防災計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">▼</span> 27 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると			終期
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 全市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	災害による被害を予測し、非常時に安全かつ的確な避難行動が行えるよう、住民一人ひとりの防災意識を高める。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	28年度に作成した13池のハザードマップについて、カラーユニバーサルデザインの認証を取得し、印刷及び配布を行う。 土砂・洪水ハザードマップの見直しを行い、カラーユニバーサルデザインの認証を取得し、印刷及び配布を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		ハザードマップの作成	ため池HM①印刷・配布 ため池HM②作成・公表	ため池HM②印刷・配布 土砂・洪水HM見直し・印刷・配布	新池川HMの改訂、高潮HMの作成に向けての調査研究	新池川HMの改訂、高潮HMの作成に向けての調査研究	新池川HMの改訂、高潮HMの作成に向けての調査研究	

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	昨年度作成し公表を行った13カ所のため池ハザードマップについて、より市民に対して防災意識の高揚と周知徹底を図るため印刷及び配布を行った。また、土砂・洪水ハザードマップは、県から新たに公表した浸水想定を反映したものに改訂を行い配布した。ともに印刷の際には色覚の個人差を問わず情報を得られるよう配慮し、カラーユニバーサルデザインの認証を取得した。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標	1	○	○				
	2						
成果指標	ハザードマップの作成	ため池HM①印刷・配布 ため池HM②作成・公表	ため池HM②印刷・配布 土砂・洪水HM見直し・印刷・配布	新池川HMの改訂、高潮HMの作成に向けての調査研究	新池川HMの改訂、高潮HMの作成に向けての調査研究	新池川HMの改訂、高潮HMの作成に向けての調査研究	
	目標達成率(実績/目標)	100		—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	平成29年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	2,000	0	0	14,646	16,646
		補正予算額		0	0	0	0	0	0
		繰越予算額		0	0	0	0	0	0
		全体予算額		0	2,000	0	0	14,646	16,646
		決算額		0	2,000	0	0	7,512	9,512
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.2	0.0	1,447		10,959			

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	9,675	9,512	-	-	-
	うち一般財源	1,675	7,512	-	-	-
	人件費	1,427	1,447	-	-	-
	総事業費	11,102	10,959	-	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		ハザードマップを市民へ配布することにより、防災意識の高揚と周知徹底が図れた。 また、カラーユニバーサルデザインの認証を取得することにより、色覚の個人差を問わず情報を発信することができた。
	効率性	A:効率的だった		市民への配布については、広報配布時に合わせて配布してもらうことにより事業の効率化に努めた。 また専門的知識を要するカラーユニバーサルデザインの認証取得について、業務の委託を行い効率的に取得することができた。
②成果に対する評価	指標名	ハザードマップの作成		ハザードマップの作成の目的である地域の危険性の把握と災害時にとるべき行動の周知ができた。
	目標	ため池HM②印刷・配布 土砂・洪水HM見直し・印刷・配布	—	
	実績	ため池HM②印刷・配布 土砂・洪水HM見直し・印刷・配布	—	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		平成27年度より実施してきた「ため池ハザードマップ」の作成、配布については計画通りに平成29年度をもって完了することができた。 土砂・洪水ハザードマップは県の新たな浸水想定を速やかに周知することができた。 また、印刷についてもカラーユニバーサルデザインの認証取得もでき、色覚を問わない情報発信を行うことができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新たな浸水想定が公表される予定の新池川(県管理河川・平成32年頃予定)のハザードマップの見直しや高潮ハザードマップの作成について、検討を行っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	ため池ハザードマップについては、平成29年度に配布を完了した。 県河川の新池川の浸水想定公表(平成32年頃予定)に関しての情報の入手や高潮ハザードマップの作成について検討・研究を行う。			
	H31年度	県河川の新池川の浸水想定公表(平成32年頃予定)に関しての情報の入手や高潮ハザードマップの作成について検討・研究を行う。			